

増加してきている。

調査地域の13の地形面についての土地利用面積比の結果から、次のことが判明した。

1. 山麓急斜面，山麓緩斜面では耕地の中では桑園が卓越し，水田は少ない。
2. 旧河道面，現沖積面及び重川段丘面では，水田面積の占める割合はおおきく，現在で60～70%，昭和29年頃では60～90%に達し，果樹園，桑園，集落等の面積は少ない。
3. 上記の面を除くと，水田，桑園，果樹園の割合に大きな差はないが，その中で扇状地Ⅴ面，Ⅶ面，Ⅷ面，笛吹川段丘面が水田の割合がやや少なくなっている。

以上から，旧河道面，現沖積面，及び重川段丘面と水田とは高い相関関係を示し，山麓斜面と桑園とも同様であり，地形が農業的土地利用に影響を与えているといえる。扇状地面と笛吹川段丘面は，他の面に比較して低い相関度であるが，これには扇状地面の地形区分の方法も影響していると思われる。

土地利用と地形とのこのような関係にある理由は，主として傾斜と地下水位にあるのではないかと考えるがこの点については不明である。

栃木県西那須野町の地理学的考察

本 沢 みどり

調査地域を，那須扇状地西半に位置する西那須野町とし，人口を主な指標としながら，西那須野町の性格を考察した。論文は全体を大きく2つにわけ，第Ⅰ章では西那須野町の概観を把握し，第Ⅱ章で現在の西那須野町の状況をさらに詳しく検討した。

西那須野町は，明治中頃から始まった農業開拓集落を基礎とする歴史の浅い町である。農業についてもいわば後進地域であったが，戦後の開田の進行と共に米作の代表的地域のひとつになっている。人口から見ると，関東地方の内陸，縁辺部では人口減少が一般的である中で，西那須野町は，人口が徐々に増加している。市街地も周辺農村地域も人口は増加している。就業人口を見ると，市街地では産業別人口構成にほとんど変化はなく，第3次産業人口が多い。これに対して周辺農村地域では，第1次産業が減少し，2次，3次産業人口の増加がはっきりみられ，それは若年層程著しい。次に西那須野町に常住する就業者を就業地別にみると，他市町村を就業地とするものが年々増加している。また他市町村に常住し西那須野町で就業する者の数も増加している。しかし，西那須野町における就業者数は停滞している。西那須野町と他市町村との間で労働力の移動が行なわれていることがわかる。特に大田原市との関係が密接で，全体の50%近くを占める。

市街地の機能は、商業、工業、交通、その他行政教育などがある。この中で、対外的に重要なものは、やはり交通機能である。那須扇状地の交通の中心は大田原市であるが、東北本線、国道4号線の走る西那須野町は交通上の中継点、通過点として重要である。東北本線の乗降客は急激な増加を示している。通勤通学客、普通客の他、塩原温泉への観光客の増加も見逃せない。道路交通も非常に増加している。

周辺農村地域では、市街地周辺部や道路沿いに農地の宅地転用が次第に激しくなっている。米作のゆきづまりと共に、水稻作一辺倒からの脱却を試みる農家も出てきてはいるがまだ、水稻の占める割合は高い。周辺農村地域は次第に都市的要素を増し、変化しているといえる。

はじめに、西那須野町は内陸部にありながら人口が増加していることを述べた。この人口増は、西那須野町自体の産業の発展によるものではなく、むしろ西那須野町の持つ交通位置により住宅地としての傾向が強くなり、周辺地域への労働力供給地としての性格が強まったためのものであるといえることができる。

現在、西那須野町には、様々の都市開発計画がたてられ、その一部は実行に移されている。西那須野町は、いままでよりもはるかに早い速度で、今後変貌していくものと思われる。

都市化と地域社会

—兵庫県西宮市の生活環境の実態と問題点—

山形雅子

人口移動は主として経済的な理由によるものであり、人間は常によりゆたかな生活水準をもとめて移動する性向を持っている。そこで人口は、大規模な産業が集中し、経済社会の発達した、そして生活水準の高い大都市へと移動することになる。このような人口移動いわゆる都市への人口集中が、日本において特に激しくなったのは、昭和30年以降であり、西宮市においてもこの時期の人口移動は顕著であり、転入者数の増加は著しい。このように西宮市は、大量の人口が流入することにより都市化されてきたと言えるが、大規模工場も少なく、産業都市としての性格の弱い西宮市においては、工業の盛んな都市にみられる吸引力は考えられない。すなわち西宮市の人口増加の主要因は産業都市、大阪、神戸の中間に位置しているということ、つまり、住宅都市としての立地条件によるところが多い。生活環境は、普通、住民の住生活を支える有形、無形のあらゆる外部的条件を意味すると考えられる。そのため、その内容は複雑多岐であるが、これら生活環境条件のうち、西宮市にとって特に問題があると考えられるものを、その悪化問題が切実に提起されている市街地